

・小雨の中で朝を迎える。遠別の道の駅「富士見」を出て海岸線を南下、今日は昼間なので法定速度でゆっくり走らせる。

・途中「ロマン街道しよさんべつ」  
「ほっと・はぼろ」「風Wとままえ」と  
新しい道の駅が出来ていてそれぞれ  
温泉と宿泊施設が併設されていて素晴らしい。  
またゆっくり来てみたい。

・このあたりは風が安定して吹くのだろうか  
風力発電の風車が林立している。

・このころには雨も上がり薄日も差し始めた。



「風Wとままえ」の名に相応しく風車が林立していた

・さらに南下し留萌を目指す途中にある  
道の駅「おびら鯨番屋」は鯨屋敷の  
旧花田家番屋を改造したもので  
歴史館もありなかなか面白い。

・留萌から内陸に入って旭川方面へ向かって  
走る、このあたりから天気は徐々に  
良くなってきた。

・旭川で銀行に寄って金をおろし後半戦に備える。



道の駅「おびら鯨番屋」



今夜の宿「ゆう」

・旭川の南西に位置し、大雪山の麓の開拓地・東川町に  
今日の宿「ゆう」を探す。何しろ一区画が500mから  
1kmという単位の広い畑地で宿「ゆう」を探すがとても  
わからない。  
交番で聞いても埒が明かず、畑のおばさんに聞いて  
やっと探し出すことができた。

・すげえ宿だ！！若夫婦と女の子3人が住む薄汚い普通の家。これじゃわからないはず。  
神奈川の人で、大雪山が見えるこの場所に惚れて、農家を買取り民宿を始めたという。  
奥さんは京都の人だとか。部屋は2階に3部屋といっても3個の空間が用意してあるといった感じ。  
今日は私一人のようで「ひぐま」という部屋を与えられた。客が来たのに主人は畑仕事、奥さんは  
子供とバレーボールに興じている。私は洗濯機を借りて洗濯を始める。部屋にはちゃんと乾燥用の  
ロープが張り巡らしてあり、ハンガーも数本かかっている。天気がよく風も吹き込むので部屋の中に  
吊るして干した。(あとでちゃんと洗濯機使用代を請求された)

・パソコンの写真を取り込んだり、今日の日記をつけたりして食事を待つが、いっこうにお呼びが無い。  
ひょっとして素泊まりなのかと心配しだした(何しろ安いから、一泊4800円)。  
7時過ぎになってやっとお呼びがあった。下に下りてゆくと なんと家族の食卓の一角にわたしの  
席が用意されており、家族と同じものを(要するに客に出す料理ではない)一緒に食べた。  
ある意味では家族的でいいが、客と言う立場は考えていない。それが良いといって利用する客も  
多いのだろう、部屋の周りには今まで泊まって家族と一緒に撮った写真が一杯飾ってある。

・ビールもちょっと遠慮して明日の旭岳を思いながら眠りについた。